

聖市アソシエーション 十六番地 聖市新聞社 発行所 聖市新聞社

歴史的新政権成立式

きのふ盛大に舉行!

統治区域の人口は二千二百餘万

治安回 中華臨時政府と合併

南京二十八日 中華民國維新政府の成立式は二十八日午前十時、南京舊國民政府内に盛大に舉行された。

京南る返き湧・色一喜歡

南京二十八日 新政府要人の宿泊する中央飯店から國民政府に到着する各代表は、一祝成立維新政府の旗幟が掲げられ、五色旗と日の丸が掲げられた。

新政府の機構

三院 七部制

必要によつて生れた

母体如きははない

南京二十八日 行政院院長蔣志氏は式終了直後記者團と会見し、この新政府の必要によるものであると述べた。

トヲ 印刷 正すべき要約があり、條約を尊重し、益々教養を加ふる方針である。

高指揮官祝辞

南京二十八日 中支新政府の生誕を祝し、上海方面軍最高指揮官高指揮官は祝辞を述べた。

中外に重大宣言

南京二十八日 維新政府は成立式と同時に反共宣言、反國民黨の旗幟を掲げ、東亞の平和と中立を宣言した。

陸軍定期異動

南京二十八日 陸軍では定期異動に伴い、松田春中、四十七名が豫備役に編入された。

日本品買はずに

石油禁輸をやれ 日支戦終結の最良法だ

ノエル・ペーカーの所論

オーストラリアのノエル・ペーカーは、石油禁輸を日支戦終結の最良法と見做している。

高指揮官祝辞 中支方面の對日感情は好化

岡本總領事歸朝談

東京二十三日 長崎發、岡本總領事は、上海に於ける支支事情について、左の如く語つた。

西山部隊奮戦

蚌埠二十三日 西山部隊は、蚌埠方面で奮戦し、敵軍を退けた。

高楠博士招聘

東京二十三日 日本學界は、高楠博士を招聘し、東京に招いた。

防共北支建設

ロイヤル・法王廳乗出 二百萬の信徒動員

英米の供給

世界石油産出中、北米、蘇聯、イタリヤ、英領印度、メキシコ、カナダの九ヶ國が主要な供給源である。

中立法以上

中立法以上の措置は、日支戦終結の最良法と見做されている。

Banco Especial de Yokohama Ltda. 日本貨預金

大阪商船 着發廣告

日伯シネマ社

ドックス寫眞館

中央旅館

セルベーチヤ

Caracú

セルベーチヤ カラクウー

絶好の空襲日和だ

漢口飛行場忽ち地ごとく圖繪

海の荒鷲八十機の爆撃行

(上海二十七日) 艦隊司令部午後一時發令本二十七日午後二時半、我海軍航空隊の精銳八十機は漢口大空襲を決定せり...

法幣人氣更に悪化

上替 外銀まで建値引下げ

(上海二十七日) 法幣の空襲を感ぜし午後五時に附建値八十三円半から一建値八十二円半に引下げられた...

中國再建の爲に

華經濟協議會生る

(北京二十七日) 華經濟協議會の組織が、中國の民衆に再生の方向を指示する爲め、北京に設立された...

第一議 クラブ中心に

新黨運動表面化

政友會有志代議士會合

(東京二十七日) 従來新黨運動に積極的な動きを見て来た第一議クラブを中心とする、政友會有志代議士會合が...

上海方面勇戦

鄭滿洲國總理 部隊に感状

學習院初等科 英語教育全廢

野村院長の英斷

(東京二十七日) 學習院では、野村院長の英斷で、初等科の英語教育が全廢された...

日伊親善 話題

一流文士交換

菊池寛派遣か

(東京二十七日) 日伊親善の話題として、菊池寛の派遣が話題となっている...

四月日本を訪問

極東艦隊旗艦

(東京二十七日) 極東艦隊旗艦の四月日本訪問が話題となっている...

名義を變更して

浦東の石炭搬出

陸海軍から嚴重注意

(上海二十七日) 浦東の石炭搬出に、陸海軍から嚴重な注意が向けられている...

讓店廣告

長尾醬油醸造所

提供アレシダ

池田勇

本所は、長尾醬油醸造所として、高品質の醬油を提供しています...

謹告

平野植民地日本人會

定評ある

カーザアレマンの

本會は、平野植民地日本人會として、定評あるカーザアレマンを提供しています...

Casa Alemã advertisement featuring a woman and text: 最新流行品が豊富に入荷致しまして皆様の御来店をお待ちして居ります

Schaedlich, Obert & Cia. R. Diretta, 162-190

乾肉の日本進出希ひ薄

再度の失敗

あの臭味が日本人に不向... 再度の失敗... 乾肉の日本進出...

身元證明

日會を中古擷らす

身元證明... 日會を中古擷らす... 精神異常の一青年...

躍進・密柑の輸出高

躍進・密柑の輸出高... 昨年度十二万三千二五三...

輸出品中第五位

輸出品中第五位... 昨年度の密柑輸出...

人軍征出

人軍征出... 福島海外協会で...

訪日伊太利使

訪日伊太利使... 節團動靜...

縮刷版

縮刷版... 二千六百年奉...

重油揮發油

重油揮發油... 買者へ注意...

日本帝國領事館

日本帝國領事館... 在パウル...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

給費生募集

給費生募集... 聖州新報社...

日伯裁縫女學校

日伯裁縫女學校... 聖州新報社...

矢崎節夫

矢崎節夫... 聖州新報社...

日本病院

日本病院... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

急募

急募... 聖州新報社...

聖報歌壇

日記 三二日雨降りつづきの夕べしるこ作りて子等との...

武 夫 アルモツサに應じてカレ止め手ころの薪を擲きて...

田 淵 浩 吐く煙のうすくく消えゆくを眺めば悲し秋は澄み...

三好 覺 評 夕立ちをきいて寄りたる木下降たはひれ交す黒人...

明 男 評 風が吹かれて客待つ一時も風の引けるなり...

評 ひそ風... 實感でせうか、通りすぎた自動車...

評 次は横に少々整理しました

日記 出き母の好みしお茶よは草の香りし...

別府 二郎 評 肉肉の町へ遊びに行く子等を見つめて微笑み...

光 枝 評 青年がレウボルに腰を懸ける收穫時の植民地...

末藤 千種 評 庭入り子の足のビショをカンテラの油燈さげ...

評 マンダリン以下四首、少々づつなほしてあります...

評 心臓を刺すやうな夕雲の青の色のうすれゆく時...

評 大風に胸がはげねは心臓に血の足らぬかどう...

藤田 春 陽 評 コスモスの花の白くその真白さ寂しかりけり...

評 今朝の空明れ上りつコスモスの三つも開いて秋空...

評 知らぬ間にアバターの芽のコーパより抜け出たり...

評 雨を刈る傍に寝出しつひじ風を渡る葉にかりぬ...

評 遠近のミレーリヤを野鳥の群を眺む秋晴の空...

評 手洗い物飲み飲みして憩ひたる野花咲く湧き水の傍...

評 哀歌 櫻井 薫 公園やMONTAの地に黒い少女等寄りて...

評 パタパタ飛ぶ羽の真白さの方が動作的で...

評 幾年ぶりに童話を讀んだらうございマモンの若葉...

評 雨の降る日は、たはに開いた早摘みの梅ではあるが...

評 なつかしい故郷の乾物で壽司まで妻の母上の法事...

評 ぼつと梅つ初めたときも丈夫でむかへる秋...

評 ようこそ、マモン送りたい瓜よりもまだやはらかと...

評 手に移す鐘やける程程の秋時時々摘んだ梅で汗...

ありのすまびに 水鳥 十三子 かりそめのわたくし事と思ひても寂しくなれば歌...

評 ありのすまびに 水鳥 十三子 かりそめのわたくし...

評 ありのすまびに 水鳥 十三子 かりそめのわたくし...

評 ありのすまびに 水鳥 十三子 かりそめのわたくし...

評 ありのすまびに 水鳥 十三子 かりそめのわたくし...

評 ありのすまびに 水鳥 十三子 かりそめのわたくし...

評 ありのすまびに 水鳥 十三子 かりそめのわたくし...

ありのすまびに 水鳥 十三子 かりそめのわたくし...

ありのすまびに 水鳥 十三子 かりそめのわたくし...

ありのすまびに 水鳥 十三子 かりそめのわたくし...

ありのすまびに 水鳥 十三子 かりそめのわたくし...

ありのすまびに 水鳥 十三子 かりそめのわたくし...

ありのすまびに 水鳥 十三子 かりそめのわたくし...

ありのすまびに 水鳥 十三子 かりそめのわたくし...

Noticias de S. Paulo Primeiro Diario Nipponico Publicado no Brasil

DARIO P. ALMEIDA DIRECTOR ROCRO KOWYAMA PROPRIETARIO

ASSIGNATURAS Anno 30\$000 Semestre 15\$000

和歌の根本 有心についで

落穂會の記

寫眞の御影館へ

和歌の根本 有心についで

落穂會の記

寫眞の御影館へ

和歌の根本 有心についで

落穂會の記

寫眞の御影館へ

和歌の根本 有心についで

落穂會の記

寫眞の御影館へ

和歌の根本 有心についで

落穂會の記

寫眞の御影館へ

和歌の根本 有心についで

落穂會の記

寫眞の御影館へ

和歌の根本 有心についで

落穂會の記

寫眞の御影館へ

和歌の根本 有心についで

落穂會の記

寫眞の御影館へ